

第1号様式（第7条関係）

環境マネジメントシステム導入報告書

| | | |
|---|--|---|
| (宛 先) 京 都 市 長 | | 平成 29年 7月27日 |
| 報告者の住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 京都府京都市南区上鳥羽藁田町1番地 | | 報告者の氏名（法人にあっては、名称及び代表者名） メテック株式会社 代表取締役社長 北村 隆幸 |
| 京都市地球温暖化対策条例第22条第2項の規定により報告します。 | | |
| 環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム の 名 称 | I S O 14001 | |
| 適 用 範 囲 | メテック株式会社 本社・京都工場・九州事業所（鹿児島工場・宮崎工場）北海工場・徳島工場 | |
| 導 入 年 月 日 | 2002年 5月24日 | |
| 認 証 番 号 | J S A E 1585 | |
| 基 本 方 針 | 金属表面処理加工の業務を通じ環境保全による、地域社会貢献を促進するために主な活動を行う。1. 事業活動が環境に与える影響を継続的に改善し、汚染の予防と環境負荷への低減に努める。2. 自主基準を設定し、環境保全活動に取り組む。3. 環境に影響を与える可能性のある項目に関し、環境負荷を可能な限り削減する。 | |
| 環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。） | 1. 化学物質の使用量の維持管理 2. 化学物質の代替物質への転換 3. 資源の有効利用（効率化）及び廃棄物の削減 ○省エネ法に基づくエネルギー使用量の削減：前年比1%以上削減（原単位） ○産業廃棄物の削減：平成22年度排出量の10%削減 | |
| 目標を達成するための取組の内容 | ○エネルギー使用量の削減 (1) 室温管理（表示）・照明の適正化と高効率化への転換 (2) ガスボイラの更新（4台→3台） (3) コンプレッサーの運転方法の変更による省エネ ○産業廃棄物の削減 (1) 分別による廃プラの有価引取 (2) 分別徹底実施中 | |
| 目標を達成するための取組の進捗状況 | ○エネルギー使用量の削減 (1) 室温管理（エアコンのリモコンに表示温度提示）・工場棟のLEDランプの更新・トイレに人感センサー設置 (2) 更新により効率2%アップ (3) 週末にコンプレッサー（インバーター機）2台の運転に変更 ○産業廃棄物の削減 (1) 7種分別によるプラスチック類の有価引取は継続実施中 (2) 分別徹底実施中 | |
| 目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価 | ほぼ、計画通り目標を達成できました。 | |
| 事業活動に係る法令の遵守の状況 | 自主基準値を設定し、定期的に確認を行っています。 また、「環境関連法規制等確認表」を作成し、順守評価を実施しています。 | |
| 環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容 | マネジメントシステムの見直しについては、1回/年」実施しており、環境目的及び目標の取組項目の達成状況を確認します。品質・環境の統合システムの運用状況について内部監査の結果を確認する。 | |

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。